

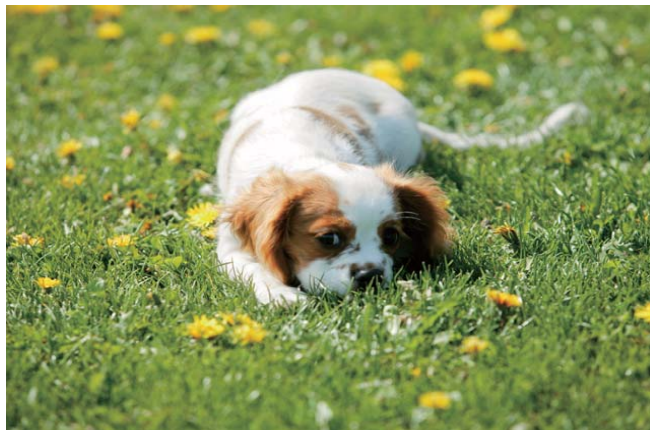
公園&お散歩に出かけるときのマナー

公園や街をお散歩するのは、最高にハッピーな時間。楽しい時間だからこそ、皆で楽しめるような心遣いを大切に。犬好きの人にもっと愛され、犬が苦手な人にも受け入れてもらえるような、愛犬との生活を目指しましょう。

お散歩はリードをつけて

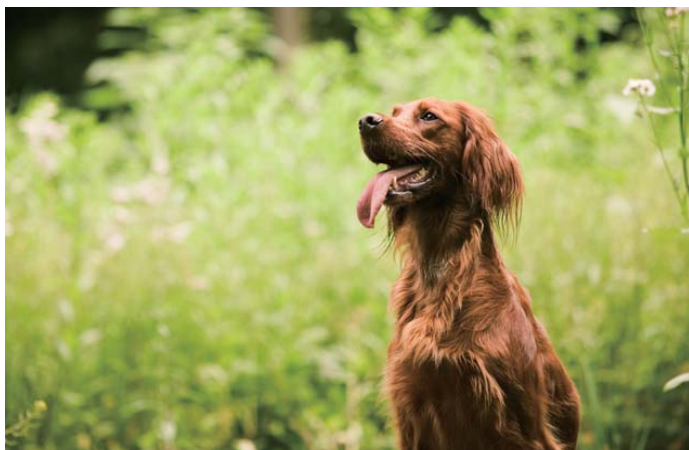
時には愛犬を自由にさせてあげたくて、リードを外してお散歩している人がいます。愛犬も先に行ったり、横にそれたり、においを嗅いだり、飼い主を追いかけてたりと楽しそう。その楽しそうな顔を見ると、いけないなと思っていてもつい放してあげたくなりますね。

ところが、立場を変えてみると、違った光景が見えてきます。犬が苦手な人はたとえどんなに体が小さくても、気が弱くて臆病でも、怖いと感じるものです。そういう人たちが散歩を楽しんでいる時に、前から飼い主に繋がれていない犬が歩いてくると、吠えられるかもしれない、噛み付かれるかもしれないと不安になってしまいます。飼い主さんは、愛犬が自分から絶対離れて行かないし、他の人には何もしないと自信があっても、不安を与える存在にになってしまうこと自体が愛犬にとっては可哀想なことです。だから、リードはつないで歩きましょう。



リードは愛犬の命綱

リードは愛犬の動きを妨げるものではなく、命を守る命綱の役割を担っていることも忘れないで。突然飛び出してくるオートバイや、目の前を横切る猫ちゃん、子供達が上げる大きな声など、予想できない突発的な出来事が起こることもあります。どんなに飼い主さんと心が繋がっている愛犬でも、ビックリした時はいつもと違う行動を起こしてしまうかもしれません。事故やトラブルから愛犬を守るためにも、リードをつけて歩くようにしましょう。



News & Topics

ギネスに登録されている 世界最高齢の犬は21歳

ロイターから配信されたニュースによると、ニューヨークに住むダックスフンドの「シャネル」が、この5月6日に21歳の誕生日を迎え、自身のギネス記録を更新した。

ギネスの広報担当者によると、審査員が獣医師の証明書や写真など確認し、記録の更新が認められたという。

「シャネル」は、生後6週の時に保護施設から引き取られた犬。飼い主のデニス・ショフネシーさんは「人間のように大切に世話をしている」と話している。

白内障を煩っている「シャネル」は、散歩のときにはサングラスをかける。愛用のサングラスは、真っ赤なフレームのオシャレなデザインのものだ。

「愛犬家住宅」づくりのご相談先